

適正な執行に努めます。

●介護保険では、第6期介護保険事業計画期間の2年目となり、人口の減少や高齢化率の増加といった要素により保険料の増額をお願いしたところであり、介護給付費は介護サービス利用者数の横ばいや昨年度の介護報酬の引き下げの影響から、計画より下回って推移しています。

●国民健康保険事業会計の経営は、所得の減少に伴う保険税の減収や前期高齢者交付金の大幅な精算調整等に併い、一般会計に新たに、法定外繰出金をお願いしなければならぬ非常に厳しい運営に陥っています。

現在、被保険者一人当たりの医療費は、平成24年度をピークとして下がり傾向で推移していますが、安心できる状況ではありません。今後、健康保険税の改定も視野に入れた中で、総合健診の受診勧奨等を一層強化するとともに、保健指導の充実、健康保持のための各種教室・運動の実施やジェネリック医薬品使用の啓発など、医療費抑制に向けた取り組みを更に強化しながら、本事業会計の健全運営に努めます。

●特別養護老人ホーム愛生園は、近年高齢者人口と高齢独居世帯が増え続ける一方、生産年齢人口が減る等地域社会は著しく変化し、それらに伴う高齢化率は上昇することが見込まれています。

本園は介護サービスを提供する地域の重要拠点であり、その機能を十分発揮し、「高齢者は功労者」の視点にたち在宅支援と中重度の要介護者を支える役割を担うと考えます。また、安全・安心なサービスの提供のためにご家族や地域の方々との関わりを大切にし、高齢者の目線にたちながら、「地域に密着した福祉の拠点」としての役割を担うよう努めます。

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし、尊厳を保持した生活を続けられることが老人福祉施設の使命であり、入所者が快適に暮らせるよう今年度は入居者のベッドを更新することし、適切な施設運営を行います。

| 主な施策内容 | 予算額 |
|------------------|----------|
| デイサービスセンター維持補修事業 | 27,300千円 |
| 各種予防接種委託 | 8,495千円 |
| 各種検診委託 | 5,175千円 |
| 乳幼児等医療費助成(拡充分) | 3,444千円 |
| 妊婦一般健康診査助成事業 | 1,708千円 |



教育施策

●昨年、教育委員会制度の抜本改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育行政に

おいて町長をトップとする責任体制の明確化や迅速な危機管理体制の構築が求められ、町長と教育委員による総合教育会議が設置されるなど、教育的課題解決への連携強化が図られたところです。教育委員会が果たすべき責任と役割はこれまでと同様であるので、5つの教育目標の実現を目指す各教育施策を推進します。

●具体的な施策としては、鬼鹿小学校改築事業の実施、給食において地元食材を積極的に活用する食育、幼稚園教育での子育て支援対策、「旧花田家番屋」での宿泊体験等事業を実施します。また、小平町発展の歴史を後世に伝えるため、新たに歴史的遺産2点を町有形文化財として指定します。

| 主な施策内容 | 予算額 |
|----------------|----------|
| 鬼鹿小学校改築実施設計委託 | 25,000千円 |
| 通学バス運行委託 | 19,289千円 |
| 共同調理場真空冷却機購入事業 | 6,491千円 |
| 小中学校パソコン整備事業 | 5,892千円 |
| 町保育・託児事業 | 5,130千円 |
| サポーターズクラブ補助金 | 3,000千円 |
| 食育事業 | 2,300千円 |



おわりに

以上、平成28年度の町政執行に臨む主な施策を述べましたが、本年は昭和41年の町制施行から50年を迎える記念すべき年であるので、1世紀に向けての記念式典のほか、町制施行50周年記念行事準備委員会を設け内容を検討し、各種記念行事を実施します。

また、昨春秋に4つの基本目標のもと60を超える事業を掲げ策定した「総合戦略」を、本年度から4年間は国が進める地方創生のもと、町を将来に引き継ぐため職員の英知を結集し、交付金制度等を有効に活用し実施します。

本年度の行政執行にあっても、「町づくりの主役は町民である」との基本理念のもと、「目配り」、「気配り」、「思いやり」を持って各施策に取り組みますので、議員並びに町民各位のなごり層のご理解とご協力をお願いし、町政執行方針とします。

